

本取り組みは、東京都港区六本木において2012年8月に完成した約2haの再開発事業です。高層棟と住宅棟を囲う空間には、生物多様性を主要なテーマとして整備された緑空間が広がり、オフィスワーカーや住人にとって潤いある都市空間を実現しています。その主なポイントは以下のとおりです。

東京の自然植生を再現

東京の自然植生をお手本にし、都市にまとまりのある緑地や草地を整備しました。在来種を主体とし、樹種の組み合わせも、地域本来の自然植生を参考に植栽されています。50年後には敷地の5割以上が緑で覆われる計画となっており、緑の量・質ともにこだわった空間が意図されています。

生きものが戻ってくるまちづくり

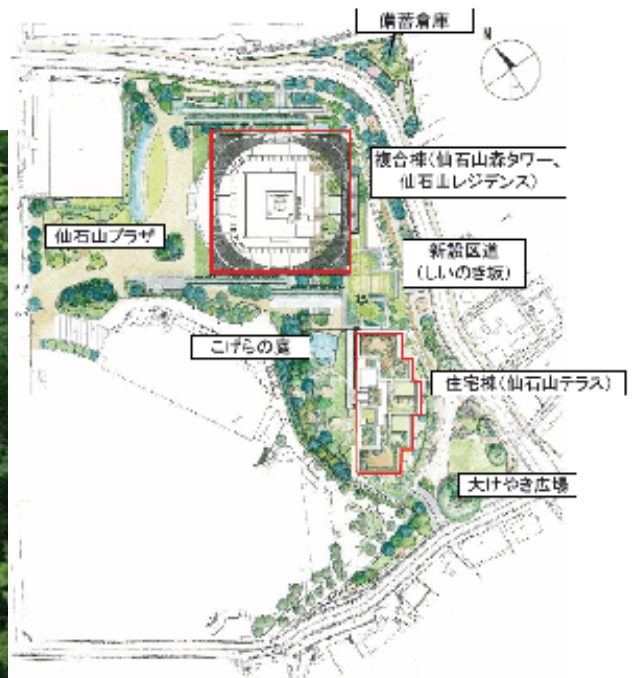
小型のキツツキであるコゲラが訪れるように枯れ木が配されたほか、極力薬剤を用いない植栽管理が行われています。さらに、土壌に棲む生きものの充実を目指して、掃き集めた落ち葉を植栽の中に戻すなど、まちの完成後も、生物多様性に配慮した取り組みが続けられています。



評価対象事業の位置



こげらの庭



緑地等の配置